

第98回 薬剤師国家試験問題検討委員会「実務」部会報告書

日時 平成25年5月18日(土) 13:00～16:30

平成25年6月4日

場所 慶應義塾大学薬学部 芝共立キャンパス

出席者

私立大学	56校	77名
国公立大学	16校	16名
計	72校	93名

委員長名	木津 純子
所属大学名	慶應義塾大学

1. 総合評価

- ・ 昨年度より国家試験問題として適切な問題が増えていた。
- ・ 適応外の薬剤が処方されている問題、標準的な治療法に沿わない内容の問題、薬剤の名称や剤形が間違っている問題、単位が間違っている検査データなどがあり、一層の問題の精査が望まれる。
- ・ 必須問題の中に、一部必須問題の範囲から逸脱していると思われる問題があった。
- ・ 昨年度より複合性も改善された問題が増えたが、さらなる改善が望まれる。特にリード文が短か過ぎる問題については、関連性（複合性）を示すようなリード文としていただきたい。
- ・ 設問の中には実務以外の分野と思われる問題があった（衛生、薬剤など）。また、試験デザインや治験システムを含めた臨床試験の問題は、実務においては知っておくべき内容であり、したがって問題自体に問題はない。どの領域の問題であるかは本質的な問題ではないが、実務領域のコアカリの出題範囲においては疑問が残る。新カリキュラムに反映されることを希望する
- ・ 約3割の問題文が否定形であった。なかには否定形の設問に否定形の選択肢を対応させている問題があった。正答を導き出すのに苦慮する可能性がある。
- ・ 学校薬剤師関連の出題が多かった。また、法規・制度・倫理の分野では薬局に関連するものが多かった。実務全体として内容的な偏りが見受けられた。
- ・ 選択肢の中には、唐突なもの、表現が曖昧なもの、解釈に差がある不適切な語句などがあった。
- ・ 処方内容が不適切であったり、大学および臨床であまり触れない薬剤の問題があった。
- ・ 4選択肢から2つ選択する設問は、問題の難易度が低いと思われる。
- ・ 直近に改定となった調剤報酬の内容を出題するのは、避けていただきたい。

2. 各項目の評価

1) 「誤りがあると判断された問題」

【単位の誤り】

問224-225：問題文に、“血清クレアチニン値1.8mg/mL”とあるが、血清クレアチニン値の単位はmg/mLではなくmg/dLである。

【表現の誤り】

問196-197：問題文に“急性憎悪の診断で入院”とあるが、憎悪ではなく増悪である。

問254-255：問題文に“非ST上昇心筋症”とあるが、非ST上昇心筋梗塞である。

※以下は特に改善を要望する項目である

薬剤名、規格、用法・用量の記載については、正しい記載にしていただきたい。

問202のメジコンシロップ（正式名称はメジコン配合シロップ）、問249のハルナールOD錠（正式名称はハルナールD錠）、問262のアルベカシン硫酸塩注射液200mgバイアル（アンプル製剤のみ）、問291のレボドパ250mg・カルビドパ水和物25mg配合錠はレボドパ250mg・カルビドパ水和物27mg（無水物として25mg）配合錠である。

問253：問題文の（処方2）のシダグリプチンリン酸塩水和物50mgの用法・用量の記載が1

1錠（1日1回）となっているが、正しい記載は1回1錠（1日1錠）である。

問218：処方1から処方2のリラグルチドに変更された症例であるが、リラグルチドが1日10.9mgとなっている。添付文書に本剤は「胃腸障害の発現を軽減するため、1日1回0.3mgから開始し、1週間以上の間隔で0.3mgずつ増量し、1日0.9mgを超えないこと」となっている。適正な用法・用量を用いていただきたい。

問222：「薬剤師が確認する内容として適切でない」という表現が曖昧である。選択肢2カルボプラチンを混和する液はブドウ糖注射液又は生理食塩液であるため、混合液としての注射用水は医師への疑義照会となる。薬剤師が確認する内容として適切でない、という意図がわかりにくく誤解を招く。

問256：腎不全での透析施行中の患者では、タンパク質摂取量を1.0～1.2g/kg/日を目標することが推奨されている。薬剤師も栄養量を確認する必要があるため、服薬指導時にタンパク質摂取量を確認することは適切である。「タンパク質量が制限されていること」という表現が曖昧である。

問314：“最も適切なものを2つ選べ”とあるが、最もは不要である。

2)「問題の観点から不適切である問題」

問81：問題の内容としては適切と考えるが、【実務】領域での出題ではなく、【法規・制度・倫理】領域での出題が適切ではないか。

問82：添付文書の細部まで把握が必要であり、学生には難しい問題かもしれない。しかし、卒業後の臨床では糖尿病を初めとする禁忌事項のチェックは当然要求される事項である。

問83：必須問題としては、やや専門的過ぎる。

問89：漢方薬の知識は必要であるが、必須問題にすべきかは疑問が残る。

問198：選択肢2：SU剤による体重の増加に対して、食事療法と運動療法を推奨するという言い方は適切ではない。

問202：配合変化を起こす組み合わせとして知っていることが望ましいが、選択肢はその作用機序を問うものであり、難易度が高い。

問204：ケトプロフェンテープ剤30mg 1日2回 → ケトプロフェンテープ剤は、20mg、40mg/枚の規格しか上市されていない。また、用法は、1日1回貼付である。グレープフルーツジュースとクロレラとの併用禁忌薬に関する問題としか思われず、他の選択肢と比べて、唐突である。エペリゾンはこの時点で知っておくべき薬物では

問206：肺炎球菌による呼吸器感染症にペペラシリンを用いるのは一般的ではない。ペペラシリンとアミノグリコシド系抗生物質の配合変化は、添付文書には記載されているが、国家試験問題としては難易度が高い。

問208：タクロリムスの血中濃度を低下させる薬物としてフェノバルビタールを出題しているが、提示した症例に使用されることはないと思われる。提示した症例において使用される可能性のある薬物を出題すべきである。

問210：実務の問題というより、薬剤の問題である。イトリゾール注は臨床現場でも使われるケースは少なく、その添加剤についての問題は、学生のレベルで回答するのは困難である。

問212：八味地黄丸の適応症について、高血圧症の適応を問うのは難易度が高い。

問214：実務として出題されているが、浄水場の水質検査方法は薬剤師実務ではないのは、衛生の範囲としての出題が適切である。

問221：第2日目処方例えば6日間投与など、継続投与がわかる記載が必要と考える。2日間の処方内容のみでは腎障害があっても減量は必要ないため、不適切な選択肢は無しとなる。

問228：選択肢の3について、疾病の進行に関する説明で、もし医師が説明していない内容の場合、薬剤師が説明する内容として適切か疑問が残る。

問231：ウィルソン病、治療薬酢酸亜鉛水和物を題材とした本問題はやや難易度が高い。

問232：出題基準から、実務の問題より衛生の問題である。

問238：ゾピクロン（イトラコナゾールと併用注意）とゾルピデム（記載なし）のうちから、ゾルピデムを選択させるのは難易度が高いと思われる。

問240：実務の問題の内容として、事前実習、病院・薬局実習で教えているか疑問である。

- 問243：衛生での出題でもおかしくない問題である。
- 問250：血清クレアチニン値、AST、ALTの値から、肝機能正常、腎機能低下症例であることが容易に理解される。したがって正解は選択肢4か5である。ワルファリンカリウムが腎外排泄の代表的な薬剤であることから、正解5を容易に導くことが可能である。しかし、シベンゾリンコハク酸の腎機能低下時の投与については添付文書上、「警告」や「禁忌」として記載がなく、ここまでの知識を要求することが疑問である。
- 問262：アルベカシンの点滴時間は2時間よりも0.5～1時間の方が有効性に優れるはずなので、臨床の実態に合わせた条件設定が必要である。選択肢4の尿中ミクログロブリンは、急性腎不全の指標となるが、薬学生にはやや難しい。
- 問277：ダイオウ末は一般用医薬品の場合は適応に「便秘」があるが、医療用医薬品の場合は、「漢方処方調剤に用いる」となっている。添付文書の用法と異なる内容で処方するのは、不適切である。
- 問280：黄色ブドウ球菌による食中毒の疑いに対して、アンピシリンの投与は不適切である。
- 問286：症例の情報量が少なすぎるため、確認すべき項目の妥当性が不十分である。国試であればもっと深みが必要。
- 問288：選択肢に「ピークフローメータ」が話題となっているのは不自然。問題文でふれる必要がある。1商品の使用方法を出題するのは一般性がなく不適切である。
- 問291：選択肢1、2について、服薬指導に際しての基本事項であるが、複合問題の選択肢としてどうか？
- 問292：領域の問題ではなく、知っておくべき内容である。
- 問297：インタビューフォームに関する問題であり、提示された症例には関係ない。
- 問299：選択肢3について、GCP上の記載は、原則として、当該実施医療機関の薬剤師を治験薬管理者として選任すること。なお、治験薬管理者として薬剤師を選任できない場合には当該実施医療機関の医師又は歯科医師を選任すること。（GCP省令ガイダンス第39条第1項、第2項1）となっており、治験薬管理者として治験責任医師を指名することは誤りではない。
- 問305：原液投与する施設がほとんどと思われるため、単シロップでの希釈を前提とすることが問題。
- 問306：もう少し、患者背景（前の処方等）があれば、よかったのではないか。不明瞭である。もしくは「追加」という言葉が不要であったのではないか。
- 問308：消去法で選べる問題であるが、これでもよい。
- 問311：実務実習（薬局）で学ぶべきことで、適切。カリキュラム上も、実務実習上（薬剤師会資料）でも必要で、適切であると考えられる。
- 問314：リード文の説明が不足しており、そこで患者背景（尿酸値、食事指導の必要性）が明らかになっているのであれば、適切となったのではないか。
- 問317：選択肢2は2年前に改訂されたばかりである。調剤報酬として、改定されやすい部分についての問題作成は、不適切にあたるのではないか。
- 問318：リード文が漠然としており、各問題の複合性が希薄である。その他は、このままでも、特に問題ない。
- 問323：不適切とは言えないが、5択のほうが良い。
- 問324：リード文が漠然としており、複合性が希薄である。選択1だけが否定文であり、正解が導きやすい。表現が、不適切なため、正解が容易に導きだされる。
- 問328：タダラフィルが出題範囲として適切かどうか疑問である。アミオダロンの適応とタダラフィルの適応が不適合であるため併用禁忌ではないが、実際に併用するのは無理ではないか、アミオダロンとの併用であればタダラフィルではなく他剤を選択したほうがよかったのではないか。
- 問329：この問題は、ディスカスの吸入方法についての問題であり、ドライパウダーの吸入方法として一般性がない。
- 問345：6%次亜塩素酸ナトリウムの6%が塩素濃度なのか有効塩素濃度なのかで解答が異なる。

3)「問題・選択肢の表現が不適切である問題」

- 問82：「禁忌ではない」よりも、使用が可能というような表現の方が適切ではないか。
本邦の添付文書上は禁忌であっても、欧米では禁忌でないものが3つある。特にグリメピリドやピオグリタゾン（肝代謝型であり、杓子定規に覚えさせるのはいかがなものか。本邦の添付文書に問題がないとは言いきれないのではないかなと思う（十分な根拠があって禁忌にしているわけではない）。
- 問198：追加処方、初回からSU剤でかつ最も効果が強いものが処方されていること、さらに30日分は不自然である。患者が、「咳が出た場合には」との説明で、テモカプリル塩酸塩錠の服用によりと判断することは困難である。また、選択肢としては、咳がテモカプリル塩酸塩錠の副作用と関連することを明確にすべきで、「テモカプリル塩酸塩錠を服用して、乾性咳が続く場合」などとすべきである。
- 問206：選択肢1の「それに近い濃度」という表現はMICを下回る濃度でもよいということになるため不適である。
- 問216：重大な副作用は1と2しかない。すべて、重大な副作用とすべきである。
- 問224：受験生は、血清クレアチニンなどから、処方量が適正かどうかを考える。
選択肢1は投与量が適正であることが前提となるので、この症例では選択肢1は適正ではないとも考えられる。
- 問228：問題文「耐性を獲得」の表現は、細菌の薬剤耐性の獲得では使用するが、アレルギーでは不適切である。問題文の「食物によるアトピー性皮膚炎」というのは違和感がある。「食物アレルギー」が一般的な用語ではないかと思われる。
- 問231：「調剤に関する記述」という言葉が適切かどうか疑問。「処方に関する記述」との表現がよい。
- 問234：選択肢の疾患はそれぞれが関連しており、眼底出血の原因になりうるため、「想定すべき生活習慣病はどれか」という問いは不自然である。「想定される生活習慣病のうち優先順位の高いものを2つ選べ」となるのではないかな。
- 問237：実務の問題であれば、剤形を含めた薬剤名にした方がよい。アセトアミノフェン中毒の場合、4時間以内の血中濃度は参考外、「服用後4時間程度」はあいまいである。
- 問238：ゾルピデム→ゾルピデム酒石酸塩とすべきである。トリアゾラム変更後の提案の選択について：ゾピクロンの「併用注意」にイトラコナゾールの記載があるが、ゾルピデムには記載がないため解答はゾルピデムを選択と考えるが、ゾルピデムもCYP3A4が代謝に関与しているため、ゾピクロンとゾルピデムのどちらを選択するかの判断基準が微妙と考えられる。
- 問249：添付文書の記載どおりだが、表現が適切なのかな。
- 問250：不整脈でシベンゾリンコハク酸塩 100 mg（1回1錠1日3回）が処方されており、この量で十分な効果が得られてなくて精密検査で入院してきている可能性がある。この条件だけからは、減量の提案については妥当性の判断が難しいのではないかな。クレアチニン1.4では、シベンゾリンの用量変更が必要なほど腎機能が低下していると判断する人はいない。添付文書に記載があるからそのまま出題するというのは安易である。しかも、用量を変更しとは記載されていない。
- 問254：・確かに、経皮的冠動脈形成術（PCI）が適用される虚血性心疾患の場合、通常、成人には、投与開始日にクロピドグレルとして300 mgを1日1回経口投与し、その後、維持量として1日1回75 mgを経口投与するとなっています。一方、PCI施行前にクロピドグレル75 mgを少なくとも4日間投与されている場合、ローディングドーズ投与（投与開始日に300 mgを投与すること）は必須ではない。今回、クロピドグレル開始時期が不明であり、選択肢2の判断が明確ではない。
・単にアスピリンとの併用という表記ではなく、低用量アスピリンorアスピリン（81～100 mg/日）と記載すべきではないか。
- 問265：設問が「適切ではないものを選べ」と否定形であり、解答である選択肢2も否定形であるため、わかりづらい。患者背景にクレアチンクリアランスが記載されており、他の選択肢の正誤がわからなくても選択肢2が誤りであることがわかる。
- 問275：選択肢に使われている「頻回」、「大量」など程度を現す表現は、具体的な表現にすることが望ましい。設問には「副作用とその対策に関する記述のうち」とあるが、選択肢には「副作用」と「その対策」が揃っていないものがあり、改善が求められる。

- 問277：処方1は配合注意の処方であり、「混合可能である」との知識を問う問題であるから、「別包とする」も正解としては、知識の正確性を評価できず不適切である。
- 問282：問題文の処方中のモルヒネ硫酸塩水和物徐放錠の用法が、1日2回朝夕食後となっているが、モルヒネ硫酸塩水和物徐放錠の添付文書には、1日2回に分割経口投与とされている。臨床における一般的な認識は、食事にかかわらず12時間ごとの服用であり、8時、20時などと指示すべきである。
- 問284：問題中の処方薬が、「アドエア125エアゾール120吸入」と記載されているが、正式には「アドエア125エアゾール120吸入用」である。
- 問286：症例の情報量が少なすぎるため、確認すべき項目の妥当性が不十分である。国試であればもっと深みが必要。
- 問291：選択肢2と4が誤りであることは、薬学的知識がなくても明らかである。表現方法が問題。投薬という表現は適切なものか。薬剤交付なのでは。
- 問297：インタビューフォームに関する問題であり、提示された症例には関係ない。
- 問299：選択肢3について、GCP上の記載は、原則として、当該実施医療機関の薬剤師を治験薬管理者として選任すること。なお、治験薬管理者として薬剤師を選任できない場合には当該実施医療機関の医師又は歯科医師を選任すること。（GCP省令ガイダンス第39条第1項、第2項1）となっており、治験薬管理者として治験責任医師を指名することは誤りではない。
- 問302：選択肢4のルアーチップタイプは、ルアースリップ（イン）タイプなど他の用語で教えている場合もあり、受験生によっては戸惑ったかもしれない。ルアースリップ式、ルアーチップ式、ルアーロック式の用語の区別を判断させているが、難易度が高い。図式の補助があればよい。
- 問305：“選択は、…を選択する”は日本語として不自然である。
- 問306：選択肢3のみ抗コリン作用と薬理作用で他は副作用名であり違和感がある。
- 問311：正解を導だすのに不適切な表現とは言えない。
- 問313：特に不適切とまでは言えないが、選択肢4の「品質に問題がないことを確認」とあるが、どのように確認するのか現実味がない。選択肢5については、「調剤」が「調整」に訂正されているので問題なし。
- 問317：語尾の表現が他の問題と異なっている。表現を統一した方がよい。患者への説明という設定では「内服1剤、外用1剤」など専門用語は不適切ではないか。
- 問326：不適切な選択肢（設問2）が明らかに間違いであり、問題が易しすぎる。
- 問328：同効薬のバルデナフィル塩酸塩水和物及びシルデナフィルクエン酸塩はアミオダロン塩酸塩と併用禁忌であるのに対し、タダラフィルについては添付文書上記載がない。ただし、タダラフィルはコントロール不良の不整脈には禁忌であるが患者の状態については問題文中に記載がなく、選択肢単独でみた場合、適切な情報提供と判断する根拠は不十分であるため、設問の意図をより明確にすべきである。性機能不全としてタダラフィル錠を処方する場合、選択肢5の説明では不足と考える。用法として「性行為の約1時間前に経口」の追加が必要と考える。
- 問329：不適切な選択肢を作ることが難しいかもしれないが、正解が分かりやすい。
- 問330：選択肢の内容がすべて否定文になっており、さらに間違っているものを選択させる設問は学生が混乱すると思います。
- 問333：選択肢中の定義が厳密でないことから、全体として2つの正しい選択肢を決めるのが難しくなっている。選択肢の内容もやや専門的である。
- 問335：選択肢4：「西洋薬」という語は漢方薬との対比として使用されるが、定義が曖昧で表現として不適切。
- 問339：選択肢1について、薬剤師に診療録に記載する義務はない。「診療録に記載しなかった」ではなく「記録に残さなかった」の表現の方が適切と思われる。
- 問341：「同一部位」という表現が曖昧である。大まかに、お腹・腕などの部位を表すのか、お腹のある。一点における部位なのか。文章表現の解釈により設問2も正解ともいえる。
- 問344：選択肢2の「病院薬剤師には…」という選択肢は不適切。

4)「複合性が不適切な問題」

問214：これは実務の問題ではなく、分析化学もしくは衛生の問題である。

また、2012年の関東地区での事例であり、他の地域の学生には不利である。

問227：複合性が低い。それぞれの問題が独立している。問227は問226から独立した問題となっている。

問231：前提となる症例・背景・事例記載がなくとも単独で、回答可能である。

新生児マスキングに関連する疾患についての出題をすべきである。

問232：前提となる症例・背景・事例記載がなくとも単独で、回答可能である。

問234：健康診断のキーワードだけで無理に複合問題にしているため、全体的な内容の複合性がないと考える。

問240：問240の解答の選択が、問241の解答の選択に影響してしまう可能性がある。

問240を誤解答すると、問241も誤解答しやすいと考えられる。

問244：抗がん剤に特化した問題と考ええると、もう少し工夫が必要である。

問247：2剤併用の関連性をもっと問う問題を検討してもいいのではないか。

問256：無理やり感があり、実務問題との複合性があると良い。

問286：問287は問286から独立した問題となっている。

問292：複合性が低い。

問295：問295だけで解答できる。提示された症例との関連性がない。

問297：インタビューフォームに関する問題であり、提示された症例には関係ない。

問299：複合性がない。

問305：問304が正解しないと、問305は解答できない。

問320：単独でも問題として成立するが、特に不適切ではない。

5)「授業で触れていない問題」

別紙1参照

その他特記事項

特になし

3. 各問題の評価

別紙1のとおり

以上

別紙1 第98回薬剤師国家試験問題「実務」部会 評価表

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
必須問題	81	0	67	0	3	64	0	0	66	1	0	67
	82	0	67	0	2	63	2	4	63	0	5	62
	83	0	67	0	7	51	9	1	66	0	25	42
	84	0	67	0	0	66	1	0	67	0	0	67
	85	0	66	1	1	66	0	2	64	1	2	65
	86	2	64	1	2	65	0	2	65	0	0	67
	87	0	67	0	0	66	1	0	67	0	1	66
	88	0	67	0	1	62	4	3	63	1	9	58
	89	0	65	2	2	63	2	0	67	0	7	60
	90	0	65	2	2	64	1	0	66	1	5	62
実践問題	326	0	68	0	1	66	1	6	58	4	0	68
	327	2	66	0	1	66	1	3	64	1	1	67
	328	1	67	0	6	59	3	6	61	1	16	52
	329	0	68	0	4	63	1	6	61	1	2	66
	330	0	68	0	1	67	0	11	54	3	1	67
	331	0	67	0	0	67	0	0	66	1	2	65
	332	0	67	0	0	65	2	1	65	1	1	66
	333	0	65	2	3	62	2	6	58	3	7	60
	334	1	65	1	0	67	0	2	64	1	2	65
	335	2	65	0	4	62	1	2	63	2	6	61
	336	0	68	0	2	65	1	1	66	1	11	57
	337	0	68	0	0	68	0	3	64	1	1	67
	338	0	68	0	0	68	0	1	67	0	1	67
	339	1	67	0	2	66	0	5	63	0	3	65
	340	0	68	0	0	67	1	1	67	0	2	66
	341	1	66	1	0	68	0	14	51	3	1	67
342	0	68	0	0	67	1	2	66	0	1	67	
343	0	68	0	2	64	2	4	64	0	2	66	
344	0	67	1	3	63	2	5	63	0	8	60	
345	2	66	0	1	65	2	1	67	0	9	59	

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
複合問題	196	1	67	0	2	66	0	6	58	4	12	52	4	3	65
	198	0	68	0	2	66	0	10	57	1	4	58	6	2	66
	200	1	67	0	4	61	3	4	62	2	3	63	2	14	54
	202	2	63	3	15	42	11	4	61	3	5	56	7	27	41
	204	0	67	1	5	59	4	2	62	4	5	59	4	10	58
	206	1	67	0	4	62	2	8	60	0	4	62	2	11	57
	208	0	67	1	3	64	1	4	63	1	4	59	5	3	65
	210	0	68	0	9	46	13	2	66	0	4	61	3	29	39
	212	0	68	0	3	62	3	5	61	2	4	60	4	16	52
	214	0	63	6	24	35	10	1	62	6	10	48	11	32	37
	216	0	69	0	4	65	0	3	66	0	2	65	2	6	63
	218	3	66	0	3	65	1	7	60	2	1	66	2	9	60
	221	2	67	0	1	66	2	10	59	0	3	63	3	4	65
	222	10	54	5	12	54	3	28	37	4	2	64	3	2	67
	224	4	64	1	3	66	0	7	62	0	2	67	0	4	65
	227	0	67	1	2	65	1	3	63	2	3	63	2	2	66
	228	0	68	0	2	66	0	6	60	2	1	66	1	9	59
	231	0	68	0	8	57	3	5	62	1	2	62	4	25	43
	232	0	68	0	3	64	1	0	68	0	2	63	3	10	58
	234	1	67	0	0	66	2	6	59	3	4	63	1	3	65
	237	0	68	0	1	66	1	4	64	0	3	63	2	3	65
	238	3	64	1	4	60	4	7	59	2	2	65	1	12	56
	240	0	66	2	14	46	8	0	64	4	4	57	7	25	43
	243	0	67	1	1	65	2	0	68	0	1	65	2	7	61
	244	0	68	0	2	65	1	3	64	1	2	63	3	4	64
	247	0	68	0	2	66	0	2	65	1	1	67	0	2	66
249	18	49	1	3	65	0	10	58	0	0	67	1	4	64	
250	1	67	0	5	63	0	3	64	1	0	67	1	7	61	
253	3	65	0	1	67	0	3	64	1	0	68	0	1	67	
254	4	64	0	2	64	2	7	59	2	2	65	1	17	51	
256	7	56	5	7	54	7	27	32	9	4	61	3	11	57	
258	0	67	1	0	67	1	6	62	0	2	65	1	11	57	
260	0	68	0	4	63	1	2	65	1	2	65	1	6	62	

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
複合問題	262	4	64	0	4	62	2	9	57	2	2	64	2	9	59
	265	1	65	2	0	65	3	9	58	1	1	65	2	7	61
	266	0	69	0	0	68	1	3	66	0	1	64	4	1	68
	268	1	68	0	2	67	0	4	64	1	0	67	2	4	65
	270	0	69	0	4	61	4	2	66	1	2	65	2	14	55
	272	1	67	1	3	62	4	1	68	0	2	64	3	12	57
	275	0	69	0	0	68	1	4	64	1	2	64	3	3	66
	277	0	68	1	4	62	3	7	56	6	2	63	4	7	62
	278	0	69	0	0	69	0	5	62	2	3	64	2	9	60
	280	2	67	0	4	62	3	6	63	0	3	64	2	13	56
	282	2	67	0	3	63	3	6	62	1	0	68	1	6	63
	284	0	69	0	2	66	1	6	62	1	0	68	1	5	64
	286	0	68	0	2	64	2	2	65	1	1	65	2	8	60
	288	0	67	1	3	65	0	6	62	0	0	68	0	5	63
	291	0	67	1	4	62	2	6	60	2	0	68	0	3	65
	292	0	66	2	4	58	6	5	57	6	1	64	3	16	52
	295	0	68	0	4	63	1	0	67	1	2	61	5	13	55
	297	1	67	0	3	60	5	5	61	2	5	57	6	2	66
	299	2	66	0	2	64	2	3	65	0	1	65	2	4	64
	300	0	68	0	1	66	1	0	67	1	2	65	1	17	51
	302	0	68	0	2	63	3	6	60	2	1	67	0	8	60
	305	0	68	0	3	61	4	0	67	1	10	57	1	0	68
	306	1	65	2	2	65	1	5	61	2	0	65	3	3	65
	308	0	67	1	3	64	1	2	65	1	0	65	3	13	55
	311	0	68	0	3	62	3	7	59	2	1	66	1	14	54
	313	1	66	1	1	66	1	8	57	3	2	65	1	2	66
	314	0	67	1	1	67	0	1	65	2	2	66	0	9	59
	317	0	68	0	4	63	1	3	64	1	2	64	2	17	51
318	0	68	0	3	65	0	2	65	1	3	62	3	10	58	
320	0	68	0	3	65	0	6	62	0	5	62	1	3	65	
323	0	68	0	2	66	0	2	64	2	2	66	0	11	57	
324	0	67	1	1	65	2	6	61	1	1	65	2	2	66	

(注)無回答:「わからない(判断できない)」を表す。また、数字は回答大学数である。